



は、もうそこまで迫って来ている。21世紀の世界は、或は科学技術は、如何様になつていてるであろうか。願くは科学技術やその他の

## 二村支部長の御逝去を悼む

東北支部副支部長  
山下實

東北大學生名譽教授二村忠元先生は去る十二月十八日東京で開かれた環境科学のペネル討論会に御出席のあと東北新幹線で帰仙された。途中大宮駅の構内で突然発病され救急車で病院に収容されましたが残念ながら心不全のため逝去されました。誠に哀惜の極みであります。

昭和十五年京大電気工学科卒業されましたが京城大学助教授東北大学通信研究所助教授を経て昭和三十年東北大工学部教授、電気通信研究所々長を歴任され昭和五十五年に退官されました。が引続き東北学院大学工学部教授として学生の指導に当られるかたわら日本学術会議会員をはじめ電気、音響関係の学会において多面的に活躍を続けておられました。

先生は自らも音楽の愛好家であると伺っていましたがご卒業以来音響理論の面から研究に入られ多くの論文を発表せられると共にス

文化的成果が、世界人類の平和と繁栄につながるように、一人一人の心の裡に、平和の誓を守つて行きたいものと念願する。（終）

区の問題の調整と技術的指導に当られた結果すべてこれを解決せられ、昨年六月以来無公害の新幹線として営業運転に入つてお、昨年十一月営業運転に入った上越新幹線と共に、私達もこれ等の速くて静かな新幹線を身近かに利用であります。

ふさわしい支部活動の定着に尽され、また平井支部長が逝去された五三年以降は支部長として毎年の支部総会を主催され國際情勢から科学の将来にわたる話題は尽きることなく夜の更けるのを忘れたことも屢々ありました。

ではなく、戦中戦後の混乱から消息すら不明の者もあったが、種々の情報より同期生の住所を確め、其の通信を集め会合の代りに「二六会同人消息集」を作つて頂き大変なつかしく、うれしく読んだことを書いた。

石川辰雄を偲ぶ

大正十五年卒  
田中卓次

昭和十五年京大電気工学科卒業  
されましたが京城大学助教授東北  
大学通信研究所助教授を経て昭和  
三十年東北大工学部教授、電気  
通信研究所々長を歴任され昭和五  
十五年に退官されましたが引続き  
総合騒音対策システム等長期に亘  
って電源の環境対策について多く  
のご指導を頂きました。

又東北電力ホール、東北大學川内講堂その他各地の公共的ホールについて室内音響効果の設計に優れた成果を挙げられました。

次に特筆する可きは地元の経済界関係の学会において多面的に活躍しておられました。

先生は自らも音楽の愛好家であつたことは、既に述べた通りである。音響理論の面から研究に入られ多くの論文を発表せられたと共に、公害対策審議会の委員として各地をはじめ東北全住民の願望であつた東北新幹線の重要課題の騒音公害については国、び県市などの

護の労れで同じ病院に入院されたが、見舞は遠慮してほしいとの事が、見舞は遠慮してほしいとの事であつた。然し一ヵ年前の十一月、東京三義クラブに於ける十四日会の集りには夫婦で出席されていて、程だから、間もなく退院されるものと思っていた。所が昨年七月、夫人が亡くなられるや病状がすすみ、十二月十五日夫人の後を追う

省みると昭和十六年の卒業十五周年会合の時に多数の要望で、家族アルバム集を作る事になったが、戦時体勢下では誰も引受けける者もなく、不可能と思われていたのに、不自由の中で単独で完成して頂いた。

又は  
昭和二十一年の卒業二十

後輩の教育にも尽されていました。

三菱電機の常務取締役より日本建鉄株式会社々長に就任され、東京に移住後も十四日会で、伊豆長岡の三養荘や東京の三菱開闢等で度々お世話になった。君のウイツチに富んだ司会姿は、今尚目前に立たれているように思われます。

日本建鉄株式会社相談役、日本

運搬管理協会々長、従五位勲三等石川辰雄君、とお世話になりました。有難う、君の残して頂いた写真集や文集を更めて見直し、昔を思い浮べている。

奥様の許で静かにお眠り下さい。（五八・二・二八）

（写真は五七・一一・一〇、東京三菱クラブに於ける十四日会で）

## I E E E 基礎計算機科学シンポジウムに参加して

昭和四十八年卒 岩間一雄

筆者は、五七年一月三日から五日まで米国シカゴ市で開催された、第二回 IEEE Symposium on Foundations of Computer Science (通称FOCS) に出席し研究発表を行った。参加者は、米、加、英、仏、独、イスラエル等から約三〇〇名。日本からは筆者のみであった。会議の前後、南北カリフォルニア大学(ギンスバーグ教授)、カリフォルニア大学バークレー(ハリソン教授)、MIT(ミラー教授)、エール大学(フィッシャー教授)を訪問し、特にMITとエールではセミナー講演の機会を持つことができた。以下はそれらをも含めた印象記である。

筆者は、五七年一月三日から五日まで米国シカゴ市で開催された、第三回 IEEE Symposium on Foundations of Computer Science (通称FOCS) に出席し研究発表を行った。参加者は、米、加、英、仏、独、イスラエル等から約三〇〇名。日本からは筆者のみであった。会議の前後、南北カリフォルニア大学(ギンスバーグ教授)、カリフォルニア大学バークレー(ハリソン教授)、MIT(ミラー教授)、エール大学(フィッシャー教授)を訪問し、特にMITとエールではセミナー講演の機会を持つことができた。以下はそれらをも含めた印象記である。

FOCSは、毎年春に行われる ACM(米国計算機学会)主催の STOC(Symposium on Theory of Computing)と並んで、計算機関連の広範な理論分野をカバーし、重要な結果や概念が最初に発表される場として常に注目を集めている。(なお五八年のSTOCは四月にボストンで行われ、筆者は講演が決まっている) FOCSは昭和三五年に第一回開催といふ、理論分野のみならず計算機全體からみて非常に長い歴史を有している。論文の競争率も例年かなり高く、五七年は投稿一六九件に対し発表四六件であった。ここの十年程日本からの発表は皆無であった。会議自体は、この分野の第

一線の研究者が一堂に会するという多分にお祭り的要素もある。発表時間は一件二十分と短く(伝統的に並行セッションを設けない)、質問もほとんど出ない、大勢の前では本質的な点について質疑を行うことを避ける傾向が一般に強く感じられ、うがつた見方かもしれないが、自分のアイデアをできるだけ他人に盗られないようにしているのではないだろうか。ただしこれは、会議場の前のロビーは常にごみがえしてて、まさに口角泡を飛ばす議論が花ざかりであった。どちらが主会場かとまどう程度であった。参加者の服装は非常に機関連の広範な理論分野をカバーし、重要な結果や概念が最初に発表される場として常に注目を集めている。(なお五八年のSTOCは四月にボストンで行われ、筆者は講演が決まっている) FOCSは昭和三五年に第一回開催といふ、理論分野のみならず計算機全體からみて非常に長い歴史を有している。論文の競争率も例年かなり高く、五七年は投稿一六九件に対し発表四六件であった。この十年程日本からの発表は皆無であった。会議自体は、この分野の第

タの蓄積(記憶)の全般に広がっておる。そのような問題を解くためのアルゴリズムを中心と複雑さを有する論文がほとんどある。要するに普段のプログラミングで巧妙なやり方を見出すればそれが論文の種になるということであり、ひと昔前の古典的言語・オートマトン理論の全盛期に比べてより計算機科学の本質にせまってゐるような気がする。いずれにしても、理論研究の一つの良さはオーリジナリティが明瞭な形で現われ易く、それが重視され、従つてオーリジナリティを追求する訓練になるというところであろうと考える。リレーショナルデータベースのコードや、VLSIのクンラも以前は基礎理論の大家だった。

今回の筆者にとって初めての海外渡航では、会議での成果もさることながら、いくつかの大学を巡って、多くの研究者と交流したことがより意義深いものを感じた。印象的だったのは、よくマスクミング等で目にする日米コミュニケーションギャップの問題である。米国の多くの著名教授、若手の研究者、大学院生から日本の計算機基礎理論の研究動向やより広く計算機一般、さらには大学や会社の現状についてよく聞かれたが、彼らはほとんど知らないので従つて評価が低いという意味で) ひどいものであった。前述のアルゴリズムの複雑さの研究は約十年前から特にさかんになり、日本でもそう大差はないのだが、日本でも複雑さの研究が始まったのは二三十年前からと一度ならず聞かれたときは、畢竟とした。彼らの理屈は「自分達が中心にいるのに日本人は積極的に接触してこない、だから相手にしない」というもので、彼我的力関係からみて文句がいえない面もあると筆者は感じた。理論の歴史は長いので、米国の大学、研究所、学会で重要な地位をしめている人が多く、彼らのこのような対外観を放棄することは明らかによくないことであろう。海外との積極的な接触を怠つてゐるという指摘は筆者にとっても耳がいたい。

その結果、研究の情報源を雑誌に求めることが多い。しかし、雑誌の場合は、投稿から掲載まで二年ぐらいかかるのが普通なので、今日では致命的な研究の遅れにつながる危険性があるということは指摘されるまでもないことである。話題には聞いていたが、議論好きで卒直な対人関係を好むかどうかといふ国民性の違いは大変なものである。彼らは食事をとりながらでもテクニカルな議論を何とも思わないし、自分の興味のある問題に対する認識は

しては、初対面の相手を追い回して議論せめにすることに對してお互いに楽しんでいた様子さえあつた。コミュニケーショングループの言葉の問題だけではない奥深さを強く感じざるを得なかつた。

このように面と向かつての議論を重視することとの自然な帰結として、セミナー講演が非常にさかんであり、その為の予算も潤沢であったように思えた（一人呼べば最低二・三〇〇ドルはかかる）。ペークレイやMITでの講演予定を見ていたが、二ヶ月に十件近くは當時行われている様子であった。筆者がMITで講演した日は他に、コサラジュとヤオが講演していた（二人とも非常に有名な学者であり、私の講演予定が彼らのと並んで掲示してあるのを見たときは誇らしい気分になった）。セミナー講演に人を呼ぶ場合、講演自体よりもその前後の一対一の議論を重視しており、筆者の場合も、大学に着くとホストの教授の秘書から予定表を渡され、三十分ぎりぎりでいろいろな人のオフィスを巡ると、上の人の様な有名人であるが、筆者の解いた問題を自分も最近アタックしたがここまでしか解けな

かたと研究ノートをみせながら説明してくれた。米国の大学における私と同年輩のアシスタントは、ロフエサレベルの人の仕事ぶりは、テニヤを得るという目標の為に目を見張るものがあり、改めて米国のきびしさとパワーを肌で感じた。今回の筆者の渡航に当っては、今回の筆者の渡航に当っては、今回の筆者の渡航に当っては、

木工機械販売に  
従事して三十五年

昭和十八年卒  
田辺輝雄

クレイやM.I.T.での講演予定を見てきたが、「一ヶ月に十件近くは常時行われている様子であった。筆者がM.I.T.で講演した日は他に、コサラジュとヤオが講演していた（二人とも非常に有名な学者であり、私の講演予定が彼らのと並んで掲示してあるのを見たときは誇らしい気分になった）。セミナー講演に人を呼ぶ場合、講演 자체よりもその前後の一对一の議論を重

視しており、筆者の場合も、大学に着くとホストの教授の秘書から予定表を渡され、三十分きぎみでいろいろな人のオフィスを巡ると、いうもので、観光気分は全くなかつた。エールでのホストはフィツ

(昭和三十五年国際見本市に木工機械を出品して)  
出品の国々の旗蒼天に、  
国際見本市今日ぞ聞かる。  
各国のお国自慢の装いを  
淑女は凝らして開会式かな。  
写真班のフラッシュ数多飛び交

外国使臣のメツセーデ聞く。

山田科学振興財團より旅費の援助を受けた。また、京都産業大学井上雄一教授、京都大学矢島脩三教授、同学上林弥彦助教授、神戸大学田中克己博士（現南カリフォルニア大学）から多くの御助言と御助力をいただいた。ここに深謝いたします。

人息れ会場に満つ午下り、  
セールスマンの玉汗光る。  
握手する手に力籠るも。  
ターバンにサロンを纏う客のあ  
り、  
英文でなく日本文の型録を、  
求めて語る台灣の客。  
「私、日本語の方良く分ります」  
と、  
ターバンの言う、面子にかけ  
て英語続けり。  
筆談で輸出契約内定す、  
冷汗流る啞の苦しさ。  
実演の機械は偉力を發揮せり、  
工場員の熱意美れり。  
再度訪う客の瞳は輝きて、  
商談成立セールスマンの飛びぶ  
何時しか人に波の去り歛寄れる  
煙草取る手に終鈴を聞く。  
本日の戦果如何にて集りて、  
缶入りビールのラッパ飲みか  
な。  
閉会の宴は果てゝ爛冷しを、  
酌み交う友の怪気焰かな。  
西東道に別れぬ同輩の、  
幸祈るかな今日を限りと。

「ガツチャマン」景気の到来は強い印象だった。神武景気、岩戸景気、いざなぎ景気と、好不況を繰返した労資共々祭日出勤残業竟に介せず働き、今で言う車社会のレディヤーや公害は、夢にも想像出来ない時代であった。外貨の蓄積が減ると公定歩合は急速に引上げられて、景気の引締期に入り、少しでも外貨の余裕が出来る途端に、緩められて企業の倒産と失業を防止し、底力の浅い日本経済は一進一退、対象療法的運営と言つた波乱連続の状況が続いた。米国英國の経営学理論が華やかに紹介されたのも、此の時代であったと思う。

昭和三十五年は、安保斗争、三井三池争議と共に、所謂所得倍増計画を以て、脚光を浴びた池田内閣の出現となる。此頃には、食衣が充足されて住の段階に入り、粗末乍ら木造建築と、これに関連した家具、建具業に木工機械の需要が出始めた。然し輸出振興が最優先されて、大企業から零細企業に至る迄、この意気込みであった。

外貨の蓄積が二〇億ドル前後で（現在は二三〇億ドル）、これ以下になるとそれこそ大変、「食糧や原材料の輸入が止るのでないか」と人々も素朴に受止め、景気の引き継に耐えたものであった。

市は、官民挙げての期待と要望を  
担って登場し、東京大阪で隔年開  
催、商戦が華やかに展開された。

ひ  
披能の舞台婚と孫を見る、  
写真撮る景色、秋声の

## 日本全土電力化の一考察

講大十卒 中村秀治

今から十年程前の昭和四十七年頃、中東の石油輸出機構(O.P.E)

○) が原油の値段を一挙に三倍位値上げして、全世界の石油消費国

産業界は大きな打撃を蒙った。值  
入に依存して居る程の国なので、

上げの理由は色々とあるであろうが、私の聞いた裏話の一説に、

『當時石油輸出機構の面々、上得意の消費国日本に敬意を表し様と

来朝し、ついでに日本全土を観光して廻つて彼等はびっくり仰天し

た……のもむりはない。砂漠地帯に生活して居る人々だもの。野も山の猿二度づれ、樹木は冬死しまく

惠の降雨で水は豊富。而も其豊富な雨水の大部は流し放し、波等

の一番欲している水を斯くも不用意に海水に放流して居るのを見

て、彼等は頭に来たらしく帰国して早速、有限の石油を無限の天恵

雨水を流し放して居る国に安値に  
売る必要ないと協議して、早速

法外な三倍もの値段に吊り上げた。此の為に日本全土がオイルシ

此の落し話に見えた様な話を聞  
、二、或星三弘は大きなかつとそ  
ういふ駄馬。

いて、成程と私は大きな示唆を受けた。日本の国土は東西に細長く

化の、考査

人十卒 中 村 秀 治

中央は山岳地帯でそれが七〇%もあり、河川は南北に急傾斜で流れている。而も台風や梅雨と日本降雨にめぐまれている国は世界にないであろう。其の雨水を遍ねく利用する方法や如何、と考えて見た。各地でダムを建設し水力発電や工業用水、飲料水に使用されて居るが、それはほんの少量で大部分の雨水は放流され居ると云つても過言ではない。

之れからの私の意見は、電気事業法や水利権や其他の国や地方の法規を一寸棚上げして置いて卒直に聞いて頂きたい。

先ず日本全土のあらゆる河川で貯水する方法。現在建設されて居る拡大な規模のダムではなく、土地の買収や村落の移転等を要しない砂防堤に、一寸毛の生えた位の適当な高さの堰堤でダムアップすること、河川の本流はもとより支流の山奥なども、上流から下流まで克明に仕切り貯水し、何個所かに発電所を建設し、最後の水は市町村部落の灌漑用水や工業用水飲料水に使用し、発電した電力は付近市町村の動力、電灯、電熱、或は農作物育成に使用すれば遠い所から送配電線を引いて来る必要は

なく、家庭も電化して全部電熱にしてガソリンスタンドならぬ蓄電池スタンドとして、電池の能力が無くなれば何処のスタンドでも簡単に取り交え出来る様な全国統一された蓄電池スタンドを至る処に造ればよい。此の様にすれば火力発電の必要は無くなり、輸入の石油、石炭は化学製品の原料に使えば宜しい。

河川はどこを行っても上流から下流まで水が満々として居り、川魚の養魚も出来ると云う具合で、豊かな国土となるであります。此の様なことをある識者に話したら、そんな堰堤はすぐ砂で埋まって仕舞うと云う。成程そうかも知れないが、其の砂を採集してコンクリートの材料に使えばよい。砂や砂利に困って居るのがコンクリート工業界の現状ではないだろうか、一挙両得と云う次第。

今一つ雨水の多量貯水方法として、山岳地帯と称する日本の尾根を、ヘリコプターで空から調査測量して適当な個所を見付け、其の一区画に大きなダムを建造すると云う構想は如何でしようか!! も一つ之れば雨水ではないが、日本全土の廻りは海、海水の流れを利用して発電する方法、例えば関門海峡の下関側、門司側の両方にトンネルを掘り多量の海水を導入し

て発電所建設、又は津軽海峡、豊後水道、鳴戸海峡等の潮流発電等々調査研究すれば、至る所で電力が得られるのではないでしようか!! 過日N.H.K.の朝のニュースで『エネルギーを考える国民会議』が前日銀総裁森永氏主催のもとに結成せられたと報じて居るのを耳にした。どんな構想か知らないが、私の前述の様な意見も取り上げて国家と共に国民全体で考えてほしいものです。

亦今日（一九八二・一〇・一三）のテレビニュース（N.H.K.）で、アメリカで水素ガスを自動車燃料として開発されたが、水素ガスを造るのに相当な経費が掛かるので、採算上実用化は五・六年先になるのではないかと報じて居た。水を電気分解すれば、酸素（八五%）と水素（一五%）が得ると承知して居る。前述の様にして豊富で安価な電気が得らるれば訳はなし様に思われ、酸素は最良の燃料ではないでしょうか!!

最後の締めくくりとして、之れは彼等石油輸出機構（O.P.E.C.）からの示唆して頂いて、日本が全土電力化して石油が不用になつたのに感謝の意味で、余ったオイルタンカーをクリーニングしてウォーター（水）タンカーに切り代え、豊富な水を割安の値段で彼等の国々に輸出してあげては如何。亦彼

感

謝

等が今まで石油で貯えたドル資金で、日本の造船所で水タンカーを建造してもらい、日本でチャータード・オペレートして水の輸出用に使えば、極度に欲して居られる日本の天惠雨水の一部が彼等を潤すであろうと感謝している。

結果となり、国交にも役立つので  
与の資源を国家永遠の為に調査研  
究御活用願いたいものと念ずる次  
第であります。

電気の講義時間が増えて行つた。この様に先生の講義は正に天下一品で、他の大学では絶対に聴けない貴重なものであったことを年と共に世の荒波にもまれて益々強く有雄く感謝している。電気専門のことは基礎さへ学んでおけば社会に出でからいくらでも自力で勉強して事足りるが、人間性を作り上げるには若い時が大事であることをも昔も知らない。

先生は口先だけで無く実行を貫かれたことが貴い。早起して御所の周辺を掃除された様だし、東京へ御出張の車中便器に汚物がひつかかっていると、御自分の小便で之を洗ひ流すことを自ら実行を以て教へられた。列車の便器が水洗式になる迄私も及ばずながら真似させて頂いた。卒業して恩師とお別の謝恩会が都ホテルで開催された時、先生の御挨拶の中で「フランスではこういう会合の席で皆おし黙つてシン」と沈黙の時間が統くと魔がさす、という諺がある位だから、皆楽しく話合ひ給へ」とお話になつた。先生は固いことばかりで無く、折にふれて楽しい時間をお与へ下さつた。

生の講義の中に日立のI.O.（アイオーリ）型過電流繼電器が、純国産品として特に優秀な性能を持つ製品であることが紹介されていたことは、私にとってせめてもの救ではあった。毎日近くの日立海岸を散歩し、眼前の太平洋を遠く望んでは米国欧洲に鵬図を走せ、遠大なる氣宇を以て将来世界に雄飛すべき小平創業社長の大理想を上司より叩き込まれて今日に到つた。先輩会社より遅れて零からスタートした日立としては、一兵卒の我々でさへ設計はすべて開発新製品ばかりで、試作は失敗しても叱られず逆に激励され、自分のやり度いことを思う存分やらせてもらつた。然も上司に対し意見は遠慮なく云はせてもらって、その方が却つて喜ばれ信用される社風は有難かった。誠に私向にぴったりの就職先を青柳先生に選定して頂いて、昔から「子を知る親に如くは無し」という諺通り「子弟を知る師に如くは無し」ということを地で行く恵まれた還境の会社で一生働くことが出来たことは、何物にも代へ難い感謝である。

に接することが出来た。先生は我々の卒業の後までも心にかけて頂く有難さに涙ぐむばかりである。今から十年程前であつたか御令息の阪大青柳健次先生より御父上の書類箱から偶然私の一年生修了時の成績表が見付かったからと、コピーをお送り下さった。私は高校・大学六年間、自分の成績は知られてもせず知ろうともせすすませて來たが、卒業後約半世紀たつてその片鱗を知る事が出来た。先生亡き後も先生の御恩徳が御令息を通して迄教へ子に及ぶということは誠に有難い限である。

卒業後今日迄幾多大激変のあつたことは申すに及ばないが、今日日本は物質文明には恵まれつゝも、精神面道徳面では先生の教訓とは甚しく逆方向に突き進んでいる。今こそ家庭も社会も国家も先生の教育に関する根本精神を顕彰しなければならない時である。人間の功罪は棺を覆て定まると言ふ。私達は今から数十年前に、この偉大なる教育者青柳先生の御薰陶を受け得た幸運は永久に忘れ得ない感謝であると共に、この青柳精神は滅びる事なく時流を超えていよいよ現在から将来に生かすべき重責を痛感する次第である。

青柳先生の他本野先生・大竹先生、清水先生、鳥養先生、加藤先生、井上先生はじめ沢山の立派な

諸先生への限りない感謝の思い出は尽きないが、少回はこれにてべ

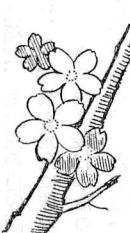
(昭和五十八年一月二十二日記)  
ンをおかせて頂く。

## 昭和57年度電気系教室

### 卒業生の就職・進学状況

絶対数が社会の需要に對して少な過ぎるのではないかとさえ思われます。

また最近の技術の急速な進歩により、企業の中には技術内容が急激に変化してかつてのイメージが一変しているものも少なくあります。学生の認識がこれに追付せんが、学生の認識がこれに追付けない場合も見受けられ、一層のガイドナンスが必要と感じます。



電気系教室57年度学部および大学院修士課程卒業生の就職・進学状況は別表に示す通りであり、博士後期課程学生では企業就職者2名、当教室を含め大学への就職者2名であります。

ここ一~二年来、企業の求人は極めて活潑であります。本年度はさらに強まった感があります。社会全体の不況の風の中で、電気関係技術者に対する期待が高いことは教室にとつても誠に有難いことであります。しかし本年度は修士課程卒業生の数が少なく、さらには学部卒業生の大学院進学率が高かったため、就職希望学生数が近年になく少なく、平年の一二〇〇名に対し九〇名を割ると

お世話をになりました洛友会々員諸生のエレクトロニクス技術者に対する要望が極めて強まつたことであります。教室としましても卒業生諸君が社会の広い分野で活躍することを希望しております、以前に比

べますと卒業生の就職先が広がる傾向にあります。それにしましても企業の方々のお話を伺いますと、わが国の電気関係学生の

兄に厚くお礼を申し上げるとともに、今後とも変わぬ御支援をお願い申し上げます。

種 别	学 部	大 学 院	
官 公 庁	0	1	通産省
通 信・放 送	2	5	電々公社、KDD、フジテレビ 関西テレビ
電 力	5	5	関西電力、中部電力、中国電力 四国電力
交 通 運 輸	1	1	近鉄、南海電鉄
電 气・電 子 機 器 メー カー	20	24	東芝、日立、三菱電機、松下電器、日本電気、富士通、日本IBM、シャープ、三洋電機、ソニー、富士電機、立石電機、松下電工
電 線	4	1	住友電工、古河電工、日立電線
製 鉄・金 属	1	5	新日鐵、川崎製鉄、神戸製鋼、日本鉄業
機 械・自 動 車	3	2	川崎重工、トヨタ自工、東洋工業、日本電装
精 密 機 械	0	3	島津製作所、富士写真フィルム
そ の 他 の 会 社	3	0	富士電気化学、東京電気化学、ネッスル日本
進 学	70	8	
未 定	1	0	
合 計	110	55	

# 洛友会三十周年

## 記念行事について

洛友会は昭和二十七年十一月に発足し今年は三十周年に当り、これを記念して別紙ご案内のような記念行事を行います。つきましては何卒ご賛同の上ご協力賜るようお願い致します。

## 昭和58年度総会通知

本年度は総会の特別行事として、洛友会三十周年記念講演が行なれます。是非奮って多数ご参加下さい。

一、日時 昭和五十八年六月二十五日(土)

二、会場 東京目黒八芳園 最寄駅山手線目黒

三、議事 東京支部評議員会 午後一時半～二時十分

東京支部総会 午後二時十五分～三時

本部総会 午後三時～三時四十分

特別記念講演会 午後三時四十五分～五時

懇親会 午後五時十分～六時四十分

四、特別記念講演会

(1) 伊藤俊夫氏 日本原子力発電労働組合会長

原子力発電競争と協調

(2) 小林大祐氏 富士通労働組合会長

(3) 伊吹公夫氏 電々公社横須賀電気通信研究所伊吹特別研究室長

通信の変革と自然科学院

五、会費 会員三〇〇〇円 同伴者一五〇〇円

但し昭和五十八年三月卒業は無料

会費は別紙総会用振替用紙にてお払込下さい。なお、これをもつて総会出席通知に代えますのでご出席の方は、「三十日までに

ご返事をお願い致します。又本会にはご家族同伴を歓迎しますので多数お誘い合せの上ご出席下さい。

## 洛友会々費納入のお願い

昭和五十七年度会費未納の方は納入請求の印を押して会報と共にお送り致しますので速かにお払込み下さい。

昭和五十八年度の会費も早い日にお払込み願います。

又洛友会三十周年記念醸金も併せてお願い申上げます。

会員各位には出費多端の折柄、誠に恐縮には存しますが、会費は洛友会存続の鍵ですから、本会永遠の発展のために、会費納入率向上に会員各位のご協力を賜わるよう切にお願い申上げます。

(洛友会事務局)

## 桂林紀行③

鈴木茂

閉鎖の運命をとつた。

9月14日  
夜半に激しい雷雨があつた。午

前半に稍小降りにはなつたが、此の日半日は雨に祟られた観光になつた。

市内観光に案内された。広州市は珠江の川口にある商港である。

秦始皇帝の代に始めて県が設けられ、唐宋時代は南洋貿易の中心になつた。宋代末期に印度洋、アラビヤ湾へ通ずる南西航路が拓かれた。爾来中国の陶磁器が中東以西に輸出され、固有名詞の China が西欧では陶磁の代名詞になつたことは御存知の通りである。絹も段

を起しておらず、これが清朝滅亡の廣州で行われ、清國の敗北により香港が英領となつた。

孫文は70年前の広州で辛亥革命を起しておらず、これが清朝滅亡の原因で行なわれ、清國の敗北により

導火線となり又共産中國以前の支配者蔣介石の北伐軍も広州を根拠とし、毛主席にも由緒のある地になつてゐる。

現在の広州の人口は三百万で、上海、北京、天津に次ぐ中国第四

の大都市であり、上海、天津に次いで中国第三位の貿易港である。

市を縦貫する日抜き通りを中心とする街と呼ぶ。孫文を記念して命名された

クロードは衰退し、明初期には遂に失敗

して日本に亡命した。明治末期頃であり、彼は中山某と云う仮名で亡命生活を送ったので、爾後中山と号したと云い、是が今日地名として残つたものである。

市内観光は農業講習所からと云ふことで、広州へ来て農業講習所

を見せられるとは一寸不思議な感じを抱いたが、実は農村革命指導者養成所の跡であった。講習所は

中山路の孔子廟の建物であった。

初代校長が毛沢東、教官には周恩来、郭沫若と云うお歴々である。

正門右側の小部屋が校長室の跡で毛沢東が起居した部屋であった。

彼が起臥した粗末な木製寝台、机、椅子、書籍類が当時の姿を止めていた。中庭を挟んだ両側の回廊が

学生寮で二段寝台、什器等が所狭しと並べられていた。正面の本廟

が講堂で、孔子像は撤去され、黒板、机、椅子等が並べられ両側の壁には孫文、毛沢東の肖像画が掲げられる。儒教も完全に抹殺されている。卒業生は農村革命のオルブとして全国へ散つたが唯一名を除き、残り全部が蔣介石、国民党に惨殺されてしまつた。彼等の最初の地図が地図上に赤点として残されているが、国共分裂による悲劇を示すものである。正門左側の小部屋には彼等の遺品、遺物が展示される。

である。孫文は近郊の中華人民共和国に隣接して中山公園がある講習所に隣接して中山公園があり



## 洛友デルタ会連絡事務所移転について

向春の候とはいいながら余寒末だ厳しい折から洛友デルタ会の会員各位にはいかがお過しことでしようか。お陰様で当会も会員各位のご努力によりまして、年々盛大になって参りましたことは喜ばしい限りでございました。当会結成以来九年を経て参りましたが、当初から幹事長として貫して会の運営に努力されて来ました上野満君(昭和十五)が、昨年十一月末に腸癌患のため京都済生会病院に入院され今日に到ります。本人及び御家族の意向によりますと、今しばらく入院治療の必要があるため当デルタ会の会務を処理することが困難であると判断されました。この意向を伝えたため昭和五八年二月五日に在京の幹事による臨時幹事会を招集し、これに賛同いたしましたところ上野幹事長の入院及び加療中は会務の代行を神戸俊夫君(昭和十四)に委嘱することに決定いたしました。

会員各位には洛友会会報誌上を記載してご連絡申し上げます。な

らの場合は新住所へお願ひします。開拓のための開拓 中山

は拝啓 向春の候とはいいながら余寒末だ厳しい折から洛友デルタ会の会員各位にはいかがお過しことでしようか。お陰様で当会も会員各位のご努力によりまして、年々盛大になって参りましたことは喜ばしい限りでございました。当会結成以来九年を経て参りましたが、当初から幹事長として

こと

まし

まし